

さきがけ

魁のまち・水戸を目指して

水戸市第6次総合計画一みと魁プランは、各種施策を定める都市づくりの基本方針です。「笑顔あふれる安心快適空間 未来に躍動する魁のまち・水戸」を、将来都市像として描いています。

この将来都市像の実現に向けた各種施策を円滑に推進するために定めているのが、3か年実施計画です。今回は、2017(平成29)年度から2019(平成31)年度で取組む重要事業などを位置付け、新たに策定しました。

問合せ／政策企画課(☎232-9104)

「魁」は、第9代水戸藩主 徳川斉昭公が漢詩「弘道館に梅花を賞す」に、自らの政治改革の姿勢を梅香になぞらえ、「雪裡(せつり)春を占(し)む天下の魁」と詠まれ、他のものを先んずる精神として表されました。

県都、そして、水戸都市圏のリーダーとして、歴史に裏打ちされた風格を保ちながら、あらゆる分野における先進的な発展をリードする都市を目指すものです。

●実施計画(計画期間3年)

社会経済情勢の変化などに対応しながら、基本計画に定める施策の実施に向けた年次計画を定めるものであり、毎年度見直しを行う

▼3か年実施計画の構成

総論と各論をもって構成します。総論は、目標人口などの基本的指標や「魁のまちづくり重点プロジェクト」などで構成し、各論は、主要施策年度別計画や財政計画などで構成します。

詳細は、市ホームページをご覧ください。
お問合せください。

水戸市第6次総合計画

●基本構想(15年間)

<2014～2028年度>

本市の目指す将来都市像を描き、実現するために必要な施策の大綱を定めるもの

●基本計画(10年間)

<2014～2023年度>

将来都市像の実現のための具体的な施策や到達を目指す目標水準を定めるもの



「魁のまち・水戸」を実現していくため、水戸ならではの特徴を生かし、個性と魅力、そして、都市力を高めていくうえで効果の高い政策・施策への重点化を図ることとし、重点プロジェクトを定めています。

重点プロジェクトは、4つのプロジェクトを位置付け、横断的な推進体制のもと、優先的かつ集中的に取り組む、おおむね5年以内(2018年度まで)に一定の成果を上げることが目指します。

※主な取組のうち、青字は2018年度までに完成予定の事業です。

水戸の自然、歴史、文化の魅力を生かした

【主な戦略的な取組】

- 観光資源を磨き上げ、来て、見て楽しめる魅力ある観光拠点の形成を図ります
 - 偕楽園公園(千波公園など)の整備(電力供給設備など)
 - 弘道館・水戸城跡周辺地区における歴史まちづくり(大手門、二の丸角櫓、土塀の整備など)
 - 保和苑(ロマンチックゾーン)周辺、セツ洞公園(英国式庭園)の整備
 - 水戸芸術館を中心とした文化の拠点づくり など
- まちの魅力を発信し、来訪者を温かく迎える意識を醸成します
 - 海外への情報発信の強化
 - フィルムコミッションの充実
 - 優良タクシー乗務員の認定
 - おもてなしマイスターの育成、認定 など



保和苑

観光集客力アッププロジェクト **3**

【主な目標指標(2018年度)】

▼観光交流人口(年間入込観光客数)

400万人(2018年)

基準値(2012年)	現況(2015年)
3,144,400人	3,674,100人

▼新たな土産品の開発品数(累計)

10品

基準値(2012年度)	現況(2015年度)
—	9品

人が集い、地域経済の活性化をリードする

【主な戦略的な取組】

- 商業・業務の新規立地、まちなか居住を誘導し、都市中枢機能の集積を図ります
 - 空き店舗対策助成制度の活用促進
 - 企業誘致コーディネーターを活用した誘致活動の推進、企業向けPRの強化
 - 創業支援事業計画に基づくサポート体制の強化
 - コワーキングスペースの運営
 - 子育て世帯の住みかえ支援、共同住宅の整備促進 など
- まちの新たな魅力を創出し、にぎわいあふれるまちとしての再生を図ります



水戸黄門漫遊マラソン

- 水戸黄門漫遊マラソンの開催
- 新市民会館の整備
- 歩いて楽しめる道路空間整備の推進(水戸駅北口・南口地区など)
- 公共交通基本計画に基づくバス路線の再編
- 水戸まちなかリノベーション事業の推進など

まちなかにぎわい・活力創造プロジェクト **4**

【主な目標指標(2018年度)】

▼中心市街地における新規出店数(市助成制度などの活用による出店数の累計)

25店

基準値(2012年度)	現況(2015年度)
—	12店

▼中心市街地の歩行者通行量(歩行者通行量調査)

12万5,000人

基準値(2012年度)	現況(2015年度)
119,588人	101,048人

Project

1 将来の水戸を担う子どもたちを育む

未来への投資プロジェクト

【主な目標指標(2018年度)】

▼保育所待機児童数(10月1日現在)

0人(2017年度)

基準値(2012年度)	現況(2015年度)
220人	175人



市民センター子育て広場

▼学力診断のためのテスト(県)の総合得点の平均点(対県平均との比較)

	基準値(2012年度)	現況(2015年度)
小6	+5.0点	△ 4.4点
中3	+20.0点	+10.1点

【主な戦略的な取組】

- 安心して子どもを生み育てることができるよう、子育てを応援します
 - 市民センター子育て広場の拡充(新設8か所)
 - 開放学級施設の整備(新設4か所、拡充4か所)など
- さまざまな分野でリーダーとなり、活躍する人材を育成します
 - 水戸スタイルの教育の推進(まごころプラン、さきかけプラン、ふれあいプラン)
 - 小・中学校への空調設備の設置
 - スポーツ施設の整備(市民球場の再整備、新たなスポーツコンベンション型体育館(東町運動公園新体育館)の整備等) など

Project

2 安全・安心を実感できる

災害に強いまちづくりプロジェクト

【主な目標指標(2018年度)】

▼防災上重要な市有建築物等の耐震化率(耐震改修促進計画)

100%

基準値(2012年度)	現況(2015年度)
79.1%	87.8%

▼主要な備蓄物資・資機材の充足率(備蓄計画)

100%

基準値(2012年度)	現況(2015年度)
88.6%	95.3%

【主な戦略的な取組】

- 災害の予防や減災に向けて、防災拠点やライフラインなどの機能強化を図ります
 - 総合防災拠点(本庁舎防災センター)の整備
 - 南消防署の改築
 - 耐震型循環式飲料水貯水槽の整備(3基)
 - 備蓄計画に基づく備蓄物資・資機材等の配備など
- 災害に備えた人や組織、情報のつながりを強化します
 - 防災情報伝達システムの整備
 - 防災訓練・講座参加者の拡充(約1万5,000人)
 - 小・中学校の全校全学年における防災教育の実施
 - 災害時要配慮者支援体制の充実 など



防災訓練

主要施策年度別計画

「魁のまち・水戸」を実現するため、施策の大綱に基づき、さまざまな施策を位置付けています。
青字は計画期間内に完成予定の事業、○は新規の事業です。

1 笑顔にあふれ 快適に暮らせる 「みと」づくり

1 未来を担う 子どもたちの育成

- ▼主な事業
 - ・わんぱく・みと、はみんぐばーく・みとを核とした多様な子育て支援・多世代交流の推進
 - ・総合的な放課後児童対策の推進
 - ・子どもを生き育てやすい環境づくり(子ども医療費助成、不妊・不育症治療費助成など)
 - ・新待機児童ゼロの継続
 - ・郷土水戸に関する教育の推進
 - ・国際理解教育の推進(オール・イン・イングリッシュ授業の推進など)
 - ・小・中学校施設の長寿命化型大規模改造



給食の時間

2 みんなで支えあい 助けあう 地域社会の実現

- ▼主な事業
 - ・地域見守り・支えあいの推進
 - ・特別養護老人ホームの整備促進(USO床増)
 - ・介護予防の推進
 - ・高齢者の健康づくり
 - ・新高齢者 障害者などの権利擁護の充実
 - ・在宅福祉サービスの充実(日中一時支援事業、移動支援事業など)
 - ・新子どもの発達支援の充実

3 健やかな生活の実現

- ▼主な事業
 - ・障害者の収入拡大に向けた取組の推進
 - ・特定健康診査・特定保健指導などの推進
 - ・新歯科保健計画(第2次)の策定
 - ・生活習慣病予防の推進
 - ・がん検診などの充実
 - ・妊産婦支援の充実(妊婦健診、相談支援事業、産後ケア事業など)
 - ・緊急診療体制の充実
 - ・安定的な医療提供体制の確保
 - ・産婦人科医、小児科医などの人材確保の推進

5 安全・安心な暮らしの実現

- ▼主な事業
 - ・ゾーン30などによる歩行者・自転車の安全対策の推進
 - ・通学路などにおける歩道整備の推進
 - ・空き地・空き家対策の強化
 - ・配水管網の整備・更新
 - ・市民との協働による応急給水体制の充実
 - ・消費者被害防止対策の強化
 - ・新たな斎場の整備

2 未来に躍動する 活力ある 「みと」づくり

1 魅力ある都市機能の充実

- ▼主な事業
 - ・立地適正化計画の策定
 - ・泉町一丁目北地区第一種市街地再開発事業
 - ・新水戸駅前三の丸地区第一種市街地再開発事業
 - ・新たなバリアフリー基本構想



自転車通行空間

- ▼主な事業
 - ・狭あい道路及び後退敷地の整備
 - ・東前第二土地区画整理事業(東前大場線など)
 - ・新茨城県央地域定住自立圏に係る取組の推進

3 水戸ならではの歴史、自然を生かした 魅力ある 「みと」づくり

1 歴史、文化の継承と 振興

- ▼主な事業
 - ・タインシップの促進(就労支援の充実(就職支援サイト)の運営、スキルアップセミナーの開催など)
 - ・天下一の魁・水戸にふさわしい歴史まちづくり



水戸城跡周辺

4 市民と行政との 協働による 自主・自立した 「みと」づくり

1 市民の多様な活動の 推進

- ▼主な事業
 - ・「みとちゃん」によるPR活動の推進
 - ・地域コミュニティ推進体制の充実、連携強化(町内会加入に向けた取組の強化など)
 - ・鯉淵 妻里市民センターの整備
 - ・市民センターの機能充実(コミュニティルーム設置9か所)
 - ・ボランティア団体、NPOなどの情報の共有、人材育成



こみつとフェスティバル

2 市民主体の行政運営の 推進

- ▼主な事業
 - ・生涯学習のしやすい環境づくり
 - ・子ども読書活動の推進
 - ・中央図書館の耐震化
 - ・第74回国民体育大会・第19回全国障害者スポーツ大会の開催に向けた取組の推進
 - ・体育施設の環境整備(空調設備の設置1か所)
 - ・女性の活躍推進に向けた環境づくり(女性の就業、キャリアアップ、起業への支援など)
 - ・国際交流活動の推進
 - ・平和事業の推進(びっすプロジェクトなど)



いばラッキー

- ▼主な事業
 - ・政策形成過程における市民参加の推進
 - ・新市制施行130周年記念事業の推進
 - ・ICTを活用した市民サービスの向上(オープンデータ活用の推進など)
 - ・中核市移行に向けた取組の推進
 - ・新保健所の整備
 - ・みと財政安心ビジョンに基づく財政運営の推進
 - ・新旧山根小学校の利活用に向けた整備
 - ・新西谷津池の利活用に向けた整備
 - ・市役所新庁舎の整備